



ぷらう60号

発行：TEACCHプログラム研究会

会長のつぶやき

TEACCHプログラム研究会 会長
内山 登紀夫

ある教育関係者の会議で、「スクールカウンセラーの先生は不登校の児童に学校行かなくて良いという人がいて…(ちょっとね…)」のような発言があり、校長先生など教師の方の多くは「それは困りましたね」みたいに頷いていた。

私の発言が回ってきたので、「私はクリニックで医者立場だけど、不登校の子どもには、『学校行かない方が良い、休みな』と提案することが多いんですよ」と嫌味っぽく発言して、周りが困ったような雰囲気になった。

また、やってしもたと、少しだけ後悔したけど、本当のことなんではしょうがない。

学校は基本的に集団向けにつくられていて、勉強したり運動したり絵を描いたり、歌ったりするところだ。そうした環境が苦手な子どもも少なくない。ところが勘違いして、すべての子どもにとって楽しいところだと思っている先生もいるようだ。教室の前などに「いつも、楽しく元気で明るい○×小学校3年2組の仲間たち」みたいな、無邪気すぎるというか、子どもを舐めているとしか思えない気持ちの悪い標語を貼る先生もいる。新生児だって泣くのである。2歳を超えれば、大人の意向がある程度「忖度」だっってしまう。いつも楽しく明るい小学生がいるわけがない。

そもそも小学校の先生になるような人は、学校が好きだったんだろうと思う。そのことは、素晴らしいことだが、皆が好きだと勘違いされると困る。これだけ多様性が叫ばれているのだから「学校は楽しいところだ」という思い込みは捨てて、「学校って、子どもによっては楽しくないのかもしれない」と、認識を変えるところから始めてほしい。

学校では勉強だけでなく、クラブ活動に給食、運動会、習字や音楽、さらに遠足だってある。子どもと話していると、こういう活動楽しくないと思っている子はけっこう多い。少なくとも私は子どもころ、これらは全部苦手だった。親の前で、給食嫌いな話とか宿題嫌だという子どもに共感しすぎて、親から嫌な顔をされることも少なくない。そういう時は、こういう風に説明する。

TEACCHIに出会って学んだことは沢山あるが、肯定的な態度、自己効力感を大切にしている視点である。

親も教師も、どうしても子どもの苦手な部分を治してやりたいと考える。苦手な部分を克服することも大事かもしれないけど、簡単には克服できないので苦手なのだ。

苦手なことに直面することが続くと、どうしても自己否定的になりがちである。子どもが生きていくために大事なことは協調性でも、運動能力でも、学力でも、「ヒトに迷惑をかけないこと」でもなく、「僕ってなかなかのものだよ」「やればなんとかなるよな」「親は無理なことは要求しないよな」って感覚である。言い換えれば子どもの自己肯定感や自己効力感を育むことだ。学校に行く、行かないは二の次である。

とはいうものの、学校で本人にあった環境を設定できれば、それに越したことはない。ただ「学校へいこう」

「がんばろう」と励ますのは意味がない。学校へいきたくなくなるような、少なくとも学校が苦痛でないような環境設定するのが先決である。

まず頑張る必要があるのは子どもではなく、大人のほうである。

TEACCHプログラム研究会 平成31年度 第1回理事会 議事録

事務局

日 時 平成31年2月9日(土)17時30分～20時

場 所 山梨県立図書館

参加者 内山 村松 宇山 諏訪 笠合 黒田 堀内 山田 中井 木崎 小川 鎌田 小沢 長富 森田
高原 内田 吉永 三ヶ田 下田 岡本 今村 野添 片山

【議案1】理事及び役割の確認

- 新理事紹介：木崎様(石川支部)
- 事務局交代：北海道支部(2019～2021)
- 役割の確認：総会報告参照

【議案2】新支部(岡山支部)設立について(準備会代表 重松様、顧問 諏訪理事)

- 新支部設立の条件については、相当の活動実績があり、安定した活動運営が期待できることが望ましいが、岡山支部については諏訪理事が顧問としてサポートをしてきた経緯もあり、条件を満たしていると判断している。
- 理事賛成多数により承認。

【議案3】新支部設立に係る承認のあり方について

- 承認の可否だけでなく、良い運営、活動ができるよう共に考えていくことを意図して、承認のあり方や設立条件等を検討する。
- 会員数が10名に満たない場合など、新支部の設立後の活動運営、実態等の確認等を目的として、内規の加筆修正を行う。
- 昨年度設立の鹿児島支部には、会員登録予定のまま、正式に登録されていない方がいるとの報告があったため、あらためて、会員の登録状況や人数を把握していただく。
- 新支部設立の希望について、その問い合わせ窓口や新支部の設立条件等を、ホームページに掲載する。また、合わせて会員数やリンク設定など、ホームページの更新を適宜行っていくことについて要望がある。

【議案4】コラボレーションセミナー2020について

- コラボレーションセミナー2018報告 アンケート結果概要(参加者318名中100名弱)
- コラボレーションセミナー2020について、幼児期から学齢期、青年成人期(就労)のステージごとの「移行、つなぎ」をテーマとしたい。ローラ・クリンガー博士からカラ・ヒューム先生を推薦された。TEACCHの非常勤のスタッフだが、FITTプログラムや、ファンダメンタルトレーニング等にかかわっておられた方。
- 日時は、令和2年2月22日(土)、23日(日)を予定。
- 予算について、本部負担の削減も考慮し、資料翻訳に係る費用の削減や、他団体等とのコラボによる講師交通費用の負担削減などの方策を検討している。コラボできる他団体については、一つに打診中だが、講師の専門領域や実績等から幼児期の支援に関連する団体等が良いのでは無いかとの意見が出ている。
- 実践報告者について、毎回、報告者の選出、調整等に苦慮している。テーマが幅広いので、ぜひ、様々な方に協力願いたい。愛知、大阪、大分、岡山等から報告者を出せないかとの意見が出ている。

【議案5】平成30年度活動報告

- 総会報告参照

【議案6】各支部事業・会計報告

- 総会報告参照

【議案7】会計報告・特別会計報告

- 平成31年度より、一般会計と特別会計を統合し、本部会計に一本化する。
- 土倉事務所に対し、業務改善を会長より要請している。委託先変更の可能性も含め、今後、検討していく。

【議案8】本部事務委託契約について

- 土倉事務所が行う会員情報の変更の管理や、各支部への伝達等について、徹底して遂行して頂きたいとの要望がある。
- 土倉事務所との契約を継続しない可能性や、本部事務を外部に委託する形を中止し、各支部で会計や会員情報の管理等を行う形に戻す案も含めて、各支部で検討してもらいたい。

【議案9】平成31年度の広報・啓発活動について

- 昨年度同様に自閉症カンファレンスの参加を予定。

【議案10】平成31年度活動計画(案)

1月7日	平成31年度 第1回総務委員会
2月10日	平成31年度 第1回理事会(山梨)
2月10日～11日	実践研究大会2019(山梨)
2月11日	平成31年度 総会
5月	機関誌『ぶらう』60号(春)発行
8月	自閉症カンファレンスNIPPON2019のポスターセッションに参加
10月	機関誌『ぶらう』61号(秋)発行

- 上記以外、必要に応じて総務委員会および理事会を開催する。
- 総務委員会等の諸会議はウェブ会議にし、回数の確保や、経費削減を進める。

【議案11】平成31年度予算案

- 総会報告参照
- 今回の理事会交通費は、東京から山梨県までの往復料金分、当初の想定より多くかかっていると思われる。

【議案12・13】次回トレーニングセミナー、実践研究大会について

- 持ち帰って、各支部で検討し、メーリングリスト等で集約する。
- 32年度総会で発表できるように、次回総務委員会(5月頃)までに意見集約を行う。返答の期限(4月頃を目処)を事務局から連絡する。

【議案14】平成31年度総会議案

- 総会議案内容及び各資料の確認を行う。

【議案15】ぶらう60号(2019年春号)について

- 記事内容について確認。
- 山梨実践研究大会の報告を、佐賀支部、東京支部に願います。

【議案16】その他

- 会則、リーフレット、理事名簿等の内容の更新について確認を行う。

TEACCHプログラム研究会 平成31年度 総会 報告

事務局

日時 平成31年2月10日(日)
場所 山梨県立図書館

【議案1】平成31年度理事および役割の確認(案) (事務局) ☆…新理事

支部	平成31年度の役割	平成30年度の役割	理事氏名
常任	会長 講師招聘事業	会長 講師招聘事業	内山登紀夫
常任	副会長 講師招聘事業	副会長 講師招聘事業	村松 陽子
常任	副会長 会計 HP JDDネット代議員 研修(トレセミ、実践研)	副会長 HP 研修(トレセミ、実践研)	宇山 秀一
常任	研修(トレセミ、実践研)	研修(トレセミ、実践研)	諏訪 利明
常任	広報・啓発担当	広報・啓発担当	笠合 竜明
常任	講師招聘事業	講師招聘事業 JDDネット理事	黒田 美保
北海道	事務局		片山 智博
東京			堀内 太郎
神奈川			山田 兼右
山梨	実践研究大会		中井百合子
石川			☆木崎 伸子
愛知			小川 真紀
滋賀			鎌田 博之
京都	講師招聘事業	講師招聘事業	小沢 綾
大阪			長富 義隆
岡山			重松 孝治
鳥取			森田 礼子
香川	広報	広報	高原 淳一
福岡			内田 博昭
佐賀			瀬尾 裕子
大分			三ヶ田智弘
熊本		事務局	下田 祐輝
鹿児島			吉田 光一
会計	本部会計	本部会計・特別会計	北海道支部
監事	本部会計監査	本部会計監査 特別会計監査	水野 敦之 岡本美由紀

【議案2】新支部設立について (事務局)

- 岡山支部設立が理事会承認(支部代表:重松孝治氏)

【議案3】TEACCHコラボレーションセミナー2020について

- 開催日:2020年2月22日(土)~23日(日)
- 講師:カラ・ヒューム氏

●テーマ：「切れ目のない支援を目指して ～早期療育から学校教育、そして成人期への移行～」

●各支部から計4事例を推薦

【議案4】平成30年度活動報告（会計・会計監査役）

- 1月14日 第1回総務委員会
- 2月23日 第2回総務委員会
- 2月23日 平成30年度 第1回理事会(京都)
- 2月24日～25日 コラボレーションセミナー2018（京都）
- 2月24日 平成30年度総会
- 5月 機関誌『ぷらう』58号(春)発行
- 6月24日 第3回総務委員会
- 8月25日～26日 自閉症カンファレンスNIPPON2018のポスターセッションに参加
- 10月6日 平成30年度第4回総務委員会(京都)
- 12月 機関誌『ぷらう』59号(秋)発行

【議案5】平成30年度会計報告、特別会計報告（会計）

平成30年度 TEACCHプログラム研究会 会計報告	
* 会計年度 平成30年1月1日～平成30年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金 (一般会計¥919,600+特別会計¥1,773,463)	¥2,693,063 ①
会費(前期¥2,993,000+後期¥271,500)	¥3,264,500 ②
H29年度後期会費	¥189,776 ②
コラボレーションセミナー返金	¥2,389,090
利息	¥28
合計	¥8,536,457
<支出>	
H30年度名簿及び会費管理費(土倉事務所業務委託費) [(¥460×1,888名+¥300×219名)+¥700×16]×3+37,815(消費税)	¥510,505 ④
理事会交通費(1回分)	¥597,166
理事会会議費(1回分)	¥59,954
総務委員会交通費(3回分)	¥476,410
総務委員会会議費(3回分)	¥62,925
JDD年会費	¥118,600
通信費	¥384,546
支払手数料(会費振込手数料)	¥214,326
(その他振込手数料)	¥5,076
コラボレーションセミナー (講師料・交通費・発送費等)	¥971,471
実践研究大会in山梨準備金	¥500,000
ホームページ管理費	¥74,682
会費請求封筒代	¥74,520
H29年度委託費等未精算分	¥1,199,666 ⑤
H29年度過収入	¥91,952 ⑤
雑費(会計士謝礼、資料印刷代等)	¥38,389
合計	¥5,380,188
<収支>	
収入¥8,536,457- 支出¥5,380,188 =	¥3,156,269
残金¥3,156,269 は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成31年2月1日	TEACCHプログラム研究会 会計担当 岡本美由紀
平成31年2月7日	TEACCHプログラム研究会 会計監査 水野敦之

平成30年度 TEACCHプログラム研究会 会計報告	
* 会計年度 平成30年1月1日～平成30年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金 (一般会計¥919,600+特別会計¥1,773,463)	¥2,693,063 ①
会費(前期¥2,993,000+後期¥271,500)	¥3,264,500 ②
H29年度後期会費	¥189,776 ②
コラボレーションセミナー返金	¥2,389,090
利息	¥28
合計	¥8,536,457
<支出>	
H30年度名簿及び会費管理費(土倉事務所業務委託費) [(¥460×1,888名+¥300×219名)+¥700×16]×3+37,815(消費税)	¥510,505 ④
理事会交通費(1回分)	¥597,166
理事会会議費(1回分)	¥59,954
総務委員会交通費(3回分)	¥476,410
総務委員会会議費(3回分)	¥62,925
JDD年会費	¥118,600
通信費	¥384,546
支払手数料(会費振込手数料)	¥214,326
(その他振込手数料)	¥5,076
コラボレーションセミナー (講師料・交通費・発送費等)	¥971,471
実践研究大会in山梨準備金	¥500,000
ホームページ管理費	¥74,682
会費請求封筒代	¥74,520
H29年度委託費等未精算分	¥1,199,666 ⑤
H29年度過収入	¥91,952 ⑤
雑費(会計士謝礼、資料印刷代等)	¥38,389
合計	¥5,380,188
<収支>	
収入¥8,536,457- 支出¥5,380,188 =	¥3,156,269
残金¥3,156,269 は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成31年2月1日	TEACCHプログラム研究会 会計担当 岡本美由紀
平成31年2月7日	TEACCHプログラム研究会 会計監査 泉崎知之

【議案6】平成31年度活動計画(案)（事務局）

- 1月7日 平成31年度 第1回総務委員会(WEB会議)
- 2月10日 平成31年度 第1回理事会(山梨)
- 2月10日～11日 実践研究大会2019（山梨）
- 2月11日 平成31年度 総会
- 5月 機関誌『ぷらう』60号(春)発行
- 8月 自閉症カンファレンスNIPPON2019のポスターセッションに参加
- 10月 機関誌『ぷらう』61号(秋)発行

●上記以外、必要に応じて総務委員会および理事会を開催する。

【議案7】平成31年度予算案（会計）

●平成31年度より、一般会計と特別会計を合わせて出納管理を行う。

平成31年度 TEACCHプログラム研究会予算案	
* 会計年度 平成31年1月1日～平成31年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥3,156,269
会費 (¥2,000 × 1,888名 × 0.8)	¥3,020,800
合計	¥6,177,069
<支出>	
H31年度名簿及び会費管理費(土倉事務所業務委託費) (¥460 × 2000名 + ¥300 × 220名 + ¥700 × 16 + ¥79,776(消費税))	¥1,076,976
理事会交通費	¥700,000
理事会会議費	¥50,000
総務委員会交通費	¥150,000
総務委員会会議費	¥30,000
JDD年会費	¥120,000
通信費	¥380,000
支払手数料(会費振込手数料)	¥220,000
コラボレーションセミナー準備金	¥2,500,000
ホームページ管理費	¥75,000
会費請求封筒代	¥75,000
雑費(印刷代、事務費等)	¥20,000
本部事業運営費	¥780,093
合計	¥6,177,069

【議案8】事務局の変更

●2019年度から、2021年度まで、熊本支部に代わり、北海道支部が事務局を担う。

実践研究大会 in 山梨 2019 報告

TEACCHプログラム研究会実践研究大会 in 山梨 2019を終えて【運営より】

大会実行委員 山梨支部 齊藤元宣

平成31年2月10日(日)・11日(月祝)、山梨県立図書館において「にじいろ～ひとりひとりの個性を大事にする子育て～」というテーマで第14回実践研究大会を開催致しました。報告者も含め会員89名、一般114名と合わせて200名を超える方にご参加頂き、無事終了することができました。

初日講演は、山梨県の方にASD支援やTEACCHIについて知って頂く契機となるような、会員の方には今まで聞いたことがない講演者のお話を聞いて頂く機会となるような、そんな想いで企画を考え、山梨に所縁のある本田先生(臨床医)と平野さん(保護者)の対談という形に行き着きました。内山先生の掛け合いや平野さんの子育て奮闘記も交じえ、面白いながらも大切な要素が入ったお話を聞け、皆様にとって有意義な時間となったことを願っております。

初日夜の懇親会はホテル談露館で開催され、67名にご参加頂き、笠合理事の音頭で本田先生・平野さんも

交えたゲームで大いに盛り上がりました。

二日目の実践報告では、会員の方が日々接している状況により近い実践報告を聞けるとよいのではないかと考え、大人の部と子供の部に分け7名の方にご報告頂きました。山梨支部では幼稚園・保育園に関わられている会員も多く、子供の部で他支部の皆様の取り組みをお聞きでき勉強になったのではないかと思います。報告者の皆様、お忙しい中ご準備頂き、素晴らしい報告を有難うございました。

最後になりますが、全国から山梨に足を運んで下さった会員の皆様、実行委員会をサポートして下さった理事・本部の皆様、山梨支部の大会実行委員・ボランティアの皆様、大会がASD支援について共に学び・交流する素晴らしい機会となったことをこの場を借りて御礼申し上げます。

実践研究大会 in 山梨2019に参加して【参加者より】

東京支部 久染文女
(目黒区発達障害支援拠点ぽると)

実践研究大会を会場でぜひ拝聴したいと思い、東京から参加させていただきました。1日目の本田先生と平野氏の特別対談は司会の内山先生も含めお話しが豊かで楽しく、本人の視点に立った支援を平野氏の子育て経験をご紹介いただきながら楽しく学ぶことができました。

また翌日の実践報告会はおとなの部とこどもの部に分かれており、あらゆる年齢の支援分野に対応するTEACCHプログラムの奥の深さを感じました。どちらの部に参加するかとても迷いましたが、先ず自分の一番の支援課題である作業や就労支援の実践をおとなの部で拝聴させていただき、途中で興味のあるカタトニア症状を伴う方の実践報告のあるこどもの部へ移動させていただくことにしました。おとなの部ではTTAPやアセスメント管理ツールなど、専門性の高いアセスメントに基づく支援を学ぶことができました。また、こどもの部では穏やかな暮らしを目途とした丁寧な支援を学ぶことができました。両方の部を掛け持ちするなど少し欲張ってしまった感がありますが支援者として有意義な学びを得ることができた二日間でした。

2019年度はまだ受講していないTTAP講習への参加など、TEACCHプログラムの学びを一歩一歩進めていきたいと思っています。ありがとうございました。

第14回TEACCHプログラム研究会 実践研究大会in山梨2019に参加して【参加者より】

佐賀支部 吉永菜穂子

2019年2月10日(日)～11日(月・祝)の2日間開催された実践研究大会in山梨に参加させて頂きました。前々日の金曜は関東では雪が降り、無事会場にたどり着けるのだろうかと心配していましたが、大会初日の日曜日はそんな心配も吹き飛ばすような良いお天気で、富士山が見える素敵な朝でした。

1日目の公開講座・特別対談のプログラムでは、本田秀夫先生のお話を聞き、その後、内山登紀夫先生が司会で、本田先生と卓球で有名な平野美宇さんのお母様の平野真理子さんとの対談へと続きました。徹子の部屋ならぬ「登紀夫の部屋」のような雰囲気でお話が続きあつと言う間に時間が過ぎてしまいました。

平野さんのお話はとても興味深く、3人の娘さんそれぞれに合わせた子育てが印象的でした。娘さん3人とも、自分で決めて、なりたい自分になれるように頑張っている様子や、それを一杯応援しているお母様のお話を聞いて、美宇さんだけでなく他のお2人の娘さんも応援したいなと思いました。また、機会があれば、平野さんのお話を聞きたいと思います。

2日目はこどもの部に参加しました。3人の方の実践発表がありましたが、それぞれ自分の関わっている子どもたちへの支援の参考になる内容で、帰ってからスタッフと情報を共有しました。

また、実践研究大会に参加したいと思います。山梨支部の皆様には、細かなところまでお世話して頂き、また、とても快適な環境をご用意頂きありがとうございました。しっかり学ぶことができました。

各支部 年間活動計画

<北海道支部>

【会議】

日時	内容・講師	会場
1月15日(火) 18:30~19:00	北海道支部総会	北海道教育大学 附属特別支援学校
2月19日(火) 18:30~20:30	第1回運営委員会	あおいそら
5月28日(火) 18:30~20:30	第2回運営委員会	あおいそら
7月9日(火) 18:30~20:30	第3回運営委員会	あおいそら
8月20日(火) 18:30~20:30	第4回運営委員会	あおいそら
9月24日(火) 18:30~20:30	第5回運営委員会	あおいそら
11月12日(火) 18:30~20:30	第6回運営委員会	あおいそら

【勉強会・研修会】

日時	内容・講師	会場
1月15日(火) 19:00~20:00	学習会(オープン) 「LD・ADHD等の疑似体験プログラム」 山下公司氏(札幌市南月寒小学校)	北海道教育大学 附属特別支援学校
6月8日(土) 10:00~17:00 6月9日(日) 10:00~17:00	共催ワークショップ(オープン) 「自閉症者の就労に向けて～アセスメントに基づいた支援～」 梅永雄二氏(早稲田大学教育総合科学学術院)	北斗市 総合文化センター
7月15日(月) 9:30~12:30	共催講演会(オープン) 「調整中」 村松陽子氏(京都市発達障害者支援センター)	北斗市 総合文化センター
9月9日(月) 16:00~18:00	共催講演会(オープン) 「自閉症ワークショップ5日間コースプレ企画 ～TEACCHの歴史と理念～」 高橋和俊氏(ゆうあい会石川診療所)	フォーポイントバイ シェラトン
9月10日(火) 10:00~14:00	共催講演会(オープン) 「自閉症ワークショップ5日間集中コース公開講座」 志賀利一氏(横浜やまびこの里)	北斗市 総合文化センター
10月29日(火) 18:30~20:30	学習会(オープン) 「みんなで事例検討会(子ども編)」 北海道支部運営委員	調整中
12月3日(火) 18:30~20:30	学習会(オープン) 「みんなで事例検討会(おとな編)」 北海道支部運営委員	調整中

【会報発行】

日時	内容・講師	会場
3月10日(日)	北海道支部会報110号 「総会報告・学習会案内 等」	
7月上旬	北海道支部会報111号 「学習会報告・学習会案内 等」	
年9月下旬	北海道支部会報112号 「学習会報告・学習会案内 等」	
年12月中旬	北海道支部会報113号 「学習会報告・2020年度総会案内 等」	

＜東京支部＞

【役員会】

日時	内容・講師	会場
1月27日(日) 9:45～11:45	第1回役員会	きゅりあん 5階 第2講習室
3月17日(日) 12:30～13:00	東京支部総会	水道橋 内海会議室 3F教室
5月26日(日) 時間:後日確定	第2回役員会	国立オリンピック記念 青少年総合センター
9月15日(日) 13:00～17:00	第3回役員会	国立オリンピック記念 青少年総合センター

※役員会は支部計画企画等の為、臨時に第4回目を開催させて頂く可能性があります。

【勉強会】

日時	内容・講師	会場
1月27日(日) 9:45～11:45	テーマ別事例検討会「休日の過ごし方」 (応募定員に達せず 中止)	きゅりあん 5階 第2講習室
3月17日(日) 13:30～16:30	特別講演会「強度行動障害への支援」 講師:志賀利一氏(横浜市発達障害支援センター)	水道橋 内海会議室 3F教室
5月26日(日) 13:30～16:30	事例検討会 事例提供者:宮武勇気氏 (東京都手をつなぐ育成会 ひだまりの里きよせ)	オリンピックセンター (304号室)
6月23日(日) ①10:00～12:15 ②13:15～15:30	定例勉強会(基礎講座1) ①「自閉症の特性」 講師:相崎貢一氏(東京都心身障害者福祉センター) ②「構造化」 講師:宇山秀一氏(横浜市発達障害者支援センター)	全水道会館 中会議室
9月16日(月) 時間:後日確定	TTAP ワークショップ 講師: 繩岡好晴氏(千葉県発達障害者支援センター)	国立オリンピック記念 青少年総合センター
10月27日(日) 時間:後日確定	定例勉強会(基礎講座2) ①「評価」②「自閉症のコミュニケーション」 時間: 後日確定 講師:高木一江氏(横浜市中部地域療育センター)	オリンピックセンター センター棟

＜神奈川支部＞

日 時	内 容	ご 案 内
2月10日(日) ～11日(月)	第14回TEACCHプログラム研究会 実践研究大会in山梨 2019	山梨県立図書館 イベントスペース
4月6日(土) 18:30～20:30	◆TEACCHプログラム研究会神奈川支部総会 【講演会】「TEACCHの最新情報(仮)」 講師 諏訪 利明(代表)	ユニコムプラザさがみはら
5月10日(金) 19:00～20:30	【研修会】「自閉症の特性」 講師 宇山 秀一(運営役員)	県央福祉社会会議室
6月14日(金) 19:00～20:30	【研修会】「評価① 自閉症の特性の評価」 講師 山田 兼右(運営役員)	県央福祉社会会議室
7月12日(金) 19:00～20:30	【研修会】「評価② インフォーマルな評価」 講師 高橋 隆志(運営役員)	県央福祉社会会議室
9月6日(金) 19:00～20:30	【研修会】「社会的コミュニケーションについて」 WEB講義 諏訪 利明/演習 役員	県央福祉社会会議室
10月11日(金) 19:00～20:30	【研修会】「構造化」 講師 米澤 巧美/坂口 泰史(運営役員)	県央福祉社会会議室
11月2日(土) 18:30～20:30	【講演会】「余暇と社会性」 講師 諏訪 利明(代表)	ユニコムプラザさがみはら
12月14日(土) ～15日(日)	【ワークショップ】「余暇と社会性」 詳細が決まり次第、お知らせいたします。	未定

※日程及び内容はあくまでも予定ですので、変更になる場合があります。
 ※基本の研修会については、**参加費 会員300円、非会員1,200円**です。
 講演会の参加費については、参加費 会員1,000円、非会員3,000円です。
 ワークショップの参加費等については、詳細が決まり次第お知らせいたします。

＜主な会場＞社会福祉法人県央福祉会 法人会議室

神奈川県大和市中央2-3-19 ウエスト・ビルディング 4F(小田急・相鉄「大和」駅西口を出て徒歩5分)

＜研修会等の内容・日程の変更・活動報告等の最新情報はブログ等でご確認ください。＞

◆TEACCHプログラム研究会ブログ <http://teacch-kanagawa.blogspot.jp/>

◆Facebookページ <https://www.facebook.com/TEACCHkanagawa/>

TEACCH プログラム研究会 神奈川支部事務局
 〒242-0006 神奈川県大和市南林間 5-1-24 1号棟
 児童発達支援事業 松ぼっくり内 山田
 【TEL】080-3250-2115 【FAX】046-240-1008
 【e-mail】teacchkanagawa@yahoo.co.jp

＜山梨支部＞

本年度は、一般公開の基礎講座や現任職員向け研修会に加え、他支部や他団体の主催する研修にも会員の方々が参加できるように応援していきます。

【運営会議】

件名	日時	内容
第1回 運営委員会	1月21日(月)	①実践研の準備状況 ②本部からの課題 ③総会について 他
第2回 運営委員会	2月4日(月)	実践研究大会の準備 等
総会	2月11日(月)	① 事業活動・決算報告 ② 事業計画・予算案 ③ その他
第3回 運営委員会	4月18日(木)	研修全般の準備、本部理事会報告 等
第4回 運営委員会	7月	見学会・研修について
第5回 運営委員会	10月	研修全般の準備、見学会・勉強会の進捗 等
第6回 運営委員会	12月	年度振り返り、総会準備 等

【勉強会・研修会】

件名	日時	内容
実践研究大会	2月10日(日) ～11日(月)	特別対談 実践報告会
講演会	5月25日(土)	TEACCH基礎講座14 「ASDのある人とやり取りしていますか？」 香川大学教授 坂井 聡先生
現任職員向け研修	年4回を予定	入所施設におけるASD支援 アセスメントに基づいた支援の実践について
幼稚園・保育園の職員向け研修	11月	「幼稚園・保育園の先生たちの基礎講座 PART6」 横浜市東部地域療育センター 安倍陽子氏
施設見学	時期未定	・横浜やまびこの里 ・弘済学園 他
外部イベント	8月 7月27日(土) ～31日(水)	・自閉症カンファレンス ・トレーニングセミナー受講 ・他支部や他団体の研修に参加
ミニ勉強会	隔月開催予定 7月頃開催予定	・みんなで考えるASD支援 ・トレセミ経験者を中心とした勉強会(幼稚園職員)
保護者向けの勉強会	未定	調整中

＜石川支部＞

日程	内容	会場
3月21日(木・祝) 9:30～12:00	第17回総会 講演会 「わかってほしい ぼくらの気持ち～発達障害のトリセツ」 講師:小坂正栄さん(日本ポーター協会認定相談員)	石川県地場産業振興 センター新館コンベンションホール

5月12日(日) 9:30～12:00	第74回例会 ミニ講演『不登校とそれに関わる医療』 講師:米谷博さん(芳珠記念病院小児科医師) 不登校についてのパネルディスカッション 「学校がしんどくなる子どもたち」 パネラー: 熊谷有紀子さん(金沢市教育プラザ研修相談センター) 藤田実千代さん(七尾特別支援学校相談員) 米谷博さん(芳珠記念病院小児科医師)	金沢市教育プラザ富樫321研修室
6月16日(日) 9:30～12:30	能登例会 講演会 「個々に応じた意向確認とアセスメントの実際」 講師:諏訪利明さん(川崎医療福祉大学准教授)	奥能登行政センター 4階生涯学習センター 一会議室(能登空港内)
7月21日(日) 9:30～12:00	講演会 「その支援ちょっと待った!誰のため?何のため? ～今、その人に必要な支援をアシストしていくためには」 講師:笠合竜明さん (相談支援事業所「きずな」相談支援専門員)	石川県地場産業振興センター会議室
9月 未定(日) 9:30～12:00	第75回例会 きょうだい児さんへのサポート お話:柿木乙夏さん他	金沢市教育プラザ富樫(予定)
10月 未定	金沢市医師会講演会 後援	
11月10日(日) 9:30～12:00	講演会 「演題未定」(ソーシャルストーリーまたはASDの女子の実践) 講師:小田桐早苗さん(川崎医療福祉大学講師)	金沢市教育プラザ富樫(予定)
12月 未定(日)	第76回例会 金沢に今年開設された新しい小児科医院からのお話 お悩み相談会	金沢市教育プラザ富樫(予定)

※会報「いしかわのていーち」7回発行予定

<愛知支部>

日時	支部主催の事業・内容・講師	会報発行	総会など
1月		会報	世話人会
2月24日(日)	講演会 「発達障害のある人の『ステキ』を引き出すサポーターになるために」 講師:加藤 潔氏(発達障害情報・支援センター)		総会 世話人会
3月			世話人会
4月20日(土)	講演会 「自閉症支援に活かす『自立課題』について」 講師:林 大輔氏(たくと大府)		世話人会
5月			世話人会

7月21日(日)	講演会 「自閉症の人の学習スタイルを理解する」(仮) 講師:服巻 智子氏(TEACCH®上級コンサルタント(ACLレベル))	会報	世話人会
9月21日(土)	講演会 「TEACCHから学ぶ自閉症の理解と支援2019」 講師:諏訪 利明氏(川崎医療福祉大学)		世話人会
11月10日(日)	講演会 「TEACCHをふまえた実践報告」(仮) 講師:山田 理恵氏(つつじが丘こどもクリニック)		世話人会
12月 未定	実践報告会 「放課後等デイサービスの実践」(仮) 報告者:澤井 直樹氏(NPO法人えとせとら)		世話人会

<滋賀支部>

日時	内容
5月24日(金) 19時~20時45分	「自閉症スペクトラム支援講座~発展編」その1 児童精神科医 門 眞一郎氏
6月28日(金) 19時~20時45分	「自閉症スペクトラム支援講座~発展編」その2 児童精神科医 門 眞一郎氏
7月26日(金) 19時~20時45分	「自閉症スペクトラム支援講座~発展編」その3 児童精神科医 門 眞一郎氏
10月25日(金) 19時~20時45分	事例報告「わが家の自閉症支援」 保護者 鎌田 博之氏
11月22日(金) 19時~20時45分	氷山モデルを用いた事例検討会①
12月20日(金) 19時~20時45分	氷山モデルを用いた事例検討会②

※場所はいずれも滋賀県男女共同参画センター(G-NETしが)

※参加費:会員無料、会員外5~7月1,000円、10~12月500円

※いずれも、事前の参加申し込みは不要です。(単発参加も可)

※例会の日時、会場が変更になる場合があります。その場合は、ブログ、Facebookに掲載しますので、例会の前にチェックをお願いします。

【お知らせ】

9月7日(土)~8日(日) 滋賀自閉症研究会たんぼぼ主催で、PECSの講習会が開催されます。TEACCH研滋賀支部も後援団体として協力させていただいたため、研滋賀支部会員は賛助会員価格で参加していただける予定です。詳細は後日、ブログ、Facebook等でお知らせします。

【お問い合わせ】:TEACCHプログラム研究会滋賀支部 事務局

FAX:077-562-8980 E-mail:teacchshiga@yahoo.co.jp

Blog:<http://blog.goo.ne.jp/teacchshiga> Facebook:<http://www.facebook.com/teacchshiga>

＜京都支部＞

日 時	支部主催の事業・内容・講師	共催・ 後援事業	会報の発行	総会・ 世話人会など
1月19日(土) 13:30～16:00	講演会 『片付けが苦手な方の特性に応じた整理収納支援 ～わくわくする未来を作る～』 森下 真紀 氏・西本 雅則 氏 (NPO法人 暮らしデザイン研究所)			支部総会
2月10日(日) ～11日(祝)	『TEACCHプログラム研究会実践研究大会 in 山梨』			
4月			機関紙発行 (春号・秋号)	
春例会	} 定期例会については、現時点での開催は、未定です。 開催ができる場合は、4月以降に機関紙・ブログにて お知らせします。 京都支部ブログ: http://kteacch.blog.fc2.com/			
夏例会				
秋例会				

これまで、定期講演会のほか、年に3～4回の例会を開催してきましたが、2019年度の例会の開催は未定です。現運営委員それぞれが、家族の介護や育児等により、例会の準備・運営のための時間を確保することが難しくなっていること、また、継続的に例会に参加される会員が減少し、持続可能な運営体制を引き継いでいくことの、現時点での見通しが立たないためです。

京都支部会員の皆さまには、会員のメリットを何らかの形で還元できるよう、関係各所に調整を図り、4月以降の機関紙・ブログ等で具体的なご報告をさせていただく予定です。

【共催後援事業(予定)】

6月、7月、9月、10月、11月、12月	自閉症支援超！入門講座
9月	高機能自閉症・アスペルガー症候群セミナー

＜大阪支部＞

日 時	内容・講師	会 場
6月8日(土) 14:00～16:30	「TEACCHの理念とTEACCHの評価」 講師:新澤 伸子氏 (武庫川女子大学文学部心理社会福祉学科教授・ TEACCH®上級コンサルタント)	大阪府社会福祉会館
7月13日(土) 14:00～16:30	「評価に基づく実践例(幼児期学齢期)」 講師:重松 孝治氏 (川崎医療福祉大学講師・TEACCH®上級コンサルタント)	大阪府社会福祉会館
9月7日(土) 14:00～16:30	「学校現場での実践報告とワークショップ」 講師:井上 有里氏・島津 雅子氏 (堺市立上神谷支援学校教諭)	大阪府社会福祉会館

10月14日(月) 14:00~16:30	「成人期(共同生活援助の取り組み)」 講師:平野 貴久氏 (社会福祉法人北摂杉の子会 地域生活支援部長)	大阪府社会福祉会館
11月2日(土) 14:00~16:30	「TEACCHが目指す世界 -TEACCH最前線-」 講師:梅永 雄二氏 (早稲田大学教育総合科学技術院教授・ TEACCH®上級コンサルタント)	大阪府社会福祉会館
12月7日(土) 14:00~16:30	「TEACCHのコミュニケーション指導」 講師:諏訪 利明氏 (川崎医療福祉大学医療福祉学科准教授・ TEACCH®上級コンサルタント)	大阪府社会福祉会館

＜岡山支部＞

【支部発足記念講演会】

日時	内容・講師	会場
4月21日(日) 10:20~15:30	ASDの人たちと関わる時に大切にしたいこと 講師:寺尾孝士氏(就労継続支援B型 ハローENJOY札幌Ⅱ) 講師:重松孝治氏(川崎医療福祉大学) 講師:諏訪利明氏(川崎医療福祉大学)	川崎医療福祉大学 講義棟3601教室

【連続講座】

日時	内容・講師	会場
5月25日(土) 18:30~20:30	TEACCHとASD 講師:重松孝治氏(川崎医療福祉大学)	川崎医療福祉大学 本館 5101教室
6月22日(土) 18:30~20:30	学習スタイル 講師:重松孝治氏(川崎医療福祉大学)	川崎医療福祉大学 本館 5101教室
7月20日(土) 18:30~20:30	アセスメント 講師:重松孝治氏(川崎医療福祉大学)	川崎医療福祉大学 本館 5101教室
10月12日(土) 18:30~20:30	ストラクチャー・ティーチング 講師:重松孝治氏(川崎医療福祉大学)	川崎医療福祉大学 本館 5101教室
11月16日(土) 18:30~20:30	コミュニケーション 講師:重松孝治氏(川崎医療福祉大学)	川崎医療福祉大学 本館 5101教室
12月14日(土) 18:30~20:30	余暇と社会性 講師:重松孝治氏(川崎医療福祉大学)	川崎医療福祉大学 本館 5101教室
1月25日(土) 18:30~20:30	行動マネジメント 講師:重松孝治氏(川崎医療福祉大学)	川崎医療福祉大学 本館 5101教室

＜鳥取支部＞

日 時	支部主催の事業・内容・講師	共催後援事業	会報の発行	総会、世話人会等
2月3日(日)				役員会 総会
4月18日(木) 18:45～20:00	【鳥取定例会】明日葉にて 講演「自閉症の特性について」			
5月16日(木) 18:45～20:00	【鳥取定例会】明日葉にて 講演「構造化について」			
6月20日(木) 18:45～20:00	【鳥取定例会】明日葉にて 講演「コミュニケーションについて」			
7月18日(木) 18:45～20:00	【鳥取定例会】つむぎにて 事例検討会(つむぎ)			
8月22日(木) 18:45～20:00	【鳥取定例会】明日葉にて 事例検討会(鹿野かちみ園)			
9月19日(木) 18:45～20:00	【鳥取定例会】明日葉にて 事例検討会(あさひ園)			
10月17日(木) 18:45～20:00	【鳥取定例会】つむぎにて 事例検討会(つむぎ)			
11月21日(木) 18:45～20:00	【鳥取定例会】明日葉にて 事例検討会(明日葉)			
12月19日(木) 19:00～20:30	【鳥取定例会】 次年度計画			

※第3木曜日

【境港定例会】特定非営利活動法人陽なた (0859)57-6240

【鳥取定例会】特定非営利活動法人スペル (0857)50-0631

＜香川支部＞

日 時	内 容	会 場
3月17日(日) 10:00～12:00	「実践研究大会in 山梨 2019」参加報告 講師:高原淳一 氏 ※香川支部代表理事 (香川県立香川中部養護学校)	かがわ総合 リハビリテーション センター
4月21日(日) 10:00～12:00	自閉スペクトラム症の方への支援① ～発達障害者支援センターでの取組～ 講師:新井隆俊 氏 (発達障害者支援センター アルプスかがわ)	かがわ総合 リハビリテーション センター
5月19日(日) 10:00～12:00	TEACCHプログラムの基本 講師:草原比呂志 氏 (あじの里地域生活支援センター)	かがわ総合 リハビリテーション センター
6月16日(日) 10:00～12:00	自閉スペクトラム症の方への支援② ～言語聴覚士の視点から～ 講師:宮本寛 氏 (香川県立中央病院 ST)	かがわ総合 リハビリテーション センター

7月28日(日) 10:00~12:00	見通しをもてるためのヒント ~スケジュールを活用した支援~ 講師:荒井桂子 氏 (香川県立高松養護学校)	かがわ総合 リハビリテーション センター
8月18日(日) 10:00~12:00	自閉スペクトラム症の方への支援③ ~特別支援学校での取組~ 講師:滝澤健 氏 (香川県立香川中部養護学校)	かがわ総合 リハビリテーション センター
10月6日(日) 10:00~12:00	公開講演会「タイトル未定」 講師:笠合竜明 氏 ※TEACCHプログラム研究会 常任理事 (社会福祉法人金沢手をつなぐ親の会 相談支援事業所さずな 相談支援専門員)	かがわ総合 リハビリテーション センター
11月17日(日) 10:00~12:00	自閉スペクトラム症の方への支援④ ~児童発達支援・放課後等デイサービスでの取組~ 講師:七條正直 氏 (放課後等デイサービス・児童発達支援 ふたば)	かがわ総合 リハビリテーション センター
12月15日(日) 10:00~12:00	座談会:自閉症への支援Q&A 講師:繪内利啓 氏 (えないメンタルクリニック)	かがわ総合 リハビリテーション センター

※ 会場は、かがわ総合リハビリテーションセンター福祉センター2Fの研修室です。
 ※ 内容・講師は変更する場合があります。最新情報はホームページでご確認下さい。
 香川支部ホームページ <http://teacchkagawa.web.fc2.com/>

＜福岡支部＞

日 時	活動内容	アドバイザー (すべて予定)	会 場
4月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状		
5月18日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 ○テーマ:情報交流会	井上哲雄氏	西南学園大学
6月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状・ぷらう送付		
7月20日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 ○テーマ:自閉症のコミュニケーション ○講師:未定	井上哲雄氏	西南学園大学
9月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付		
10月19日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 ○テーマ:行動問題について ○講師:未定	井上哲雄氏	西南学園大学
11月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状・ぷらう送付		
12月14日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 記念講演(タイトル未定) 講師:未定 ○2019年度総会	井上哲雄氏	西南学園大学

※自閉症スペクトラム実践研修会の実践報告者は、随時募集します。
 ※日時、アドバイザー、会場については予定であるため、変更される場合もあります。
 ※他団体の研修会等の情報を提供。(随時送付)

＜佐賀支部＞

日 時	支部主催の事業・内容・講師	共催・後援事業	会報の発行	総会・世話人会など
1月19日(土) 9:30～11:30	定例学習会「行動について」 講師:中山政弘先生 (蒲池病院 心と発達の医療センター)			総会
2月	定例学習会はお休みです			
2月3日(日)	会員研修補助 「認知行動療法とThe Cat-Kit」ビレッジセミナー	From A village共催		
3月16日(土) 9:30～11:30	定例学習会「相談支援から」 講師:竹野かおり氏 (株式会社ばすてる 子ども発達療育相談PASTEL)			
3月30日(土) 12:30～	自閉症啓発デー DVD上映会 「ぼくと魔法の言葉たち」	自閉症協会 発達障害者支援センター		
4月20日(土) 9:30～16:00	定例学習会 「TEACCHの理念と自閉症支援の最新情報」 講師:服巻智子氏 (オーティズム・リサーチ・コンサルタンシー) 会員研修補助 「コミック会話について」ビレッジセミナー			
5月18日(土) 9:30～11:30	定例学習会 「自閉症の特性と構造化の支援」①構造化 講師:本村亜希子氏(another planets) 会場:未定			
5月25日(土) ～26日(日)	会員研修補助 「いじめについて 和久田氏講演会」 ビレッジセミナー	From A village共催		
6月15日(土) 9:30～11:30	定例学習会 「自閉症の特性と構造化の支援」② コミュニケーション 講師:篠田朋子氏(another planets) 会場:未定			
7月20日(土) 9:30～11:30	定例学習会 「自閉症の特性と構造化の支援」③感情 講師:納富奈緒子氏(another planets) 会場:未定		ぶらう 発送	
8月24日(土) 9:30～11:30	定例学習会 「事例検討会」インシデントプロセス法を用いて 幼児期・学齢期(特別支援学級・特別支援学校)から			
9月21日(土) 9:30～11:30	定例学習会「移行支援と成人期の支援」 講師:吉永菜穂子氏(それいゆ) 会場:未定			
10月19日(土) 9:30～11:30	定例学習会「就労支援について」 講師:五所朱里氏(それいゆ) 会場:未定			

11月17日(日) 14:00～	公開講演会 講師:中谷正恵氏 (株)童夢代表、南大阪PECS研究会代表)	共催予定	ぶらう 発送	
12月15日(日) 9:30～11:30	定例学習会「行動の困難について」 講師:黒木麻美氏(それいゆ) 会場:未定			世話人会

<大分支部>

日時	テーマ・講師	会場
1月27日(日) (14時-16時)	基礎講座① テーマ:TEACCHプログラムがもたらしてくれたもの ～TEACCHプログラム研究会大分支部のこれまでの歩みとこれから～ 講師:三ヶ田 智弘氏(大分こども療育センター 院長)	大分こども 発達支援センター 研修室
2月10日(土) ～11日(日)	TEACCHプログラム研究会実践研究大会	山梨県
5月26日(日) (10時-16時)	講演会① テーマ: こころの声言葉になる ～自尊感情を高めるために大切なこと～ 講師:副島 賢和氏 (昭和大学大学院保健医療学研究科准教授、院内学級担当、 北海道こどもホスピスプロジェクト応援アンバサダー)	ホルトホール 大会議室
6月9日(日) (10時30分 -12時)	基礎講座② テーマ:【実践報告】 親子で取り組んだライフスキルアップクラスの効果の検討(仮) 講師:三ヶ田 暢美氏(大分こども療育センター)	大分こども 発達支援センター 研修室
8月4日(日) (10時-16時)	共催事業 講演会② & 大分こども療育センター心理療育セミナー テーマ:学校におけるさまざまな問題行動と子どものトラウマ(仮) 講師:大河原 美以氏 (東京学芸大学総合教育科学系教育心理学講座 教授)	ビーコンプラザ 3階 国際会議室
11月10日(日) (10時-12時)	TEACCHプログラム研究会 大分支部 10周年記念事業 テーマ:最新のTEACCHIについて(仮) 講師:諏訪 利明氏 (川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 准教授)	アクロスホール
12月8日(日) (10時-16時)	テーマ: 自閉スペクトラム症をもつ人のアセスメントから実践の組立 その2 講師:笠合 竜明氏(TEACCHプログラム研究会 石川県支部長)	大分県教育会館

※基礎講座の時に、大分支部理事会開催予定。

＜熊本支部＞

日 時	支部主催の事業・内容・講師	会報の発行	総会、 世話人会など
1月17日 12:30～16:30	(総会) 2019年度熊本支部総会 (特別講演) 講演会「ICTを活用した特別支援教育」 講師:村上 豊優先生(産山村立義務教育学校)		総会 世話人会
5月18日 14:00～16:30	(基礎講座) 内容「発達特性を理解する」 講師:重松 高治先生(川崎医療福祉大学)		世話人会
7月 計画中	内容「コミュニケーションサンプル」 講師:諏訪 利明先生(川崎医療福祉大学)		世話人会
10月 計画中	(実践報告会予定) 内容『18歳からのサポート』 ①進学・就労へ ②利用できる福祉サービス 講師 検討中		世話人会

＜鹿児島支部＞

日 時	内容・講師	会 場
4月14日(日) 14:00～15:00	「2019年度 TEACCH研かごしま 総会」	霧島市公民館
9月7日(土) 19:00～21:00	「TEACCH研かごしま 学習会①」 宇野洋太 氏(よこはま発達クリニック医師)	ハートピア鹿児島
9月8日(日) 10:00～12:00	「(演題調整中)」 宇野洋太 氏(よこはま発達クリニック医師)	未 定
10月5日(土) 19:00～21:00	「TEACCH研かごしま 学習会②」 宇野洋太 氏(よこはま発達クリニック医師)	ハートピア鹿児島
11月2日(土) 19:00～21:00	「TEACCH研かごしま 学習会③」 宇野洋太 氏(よこはま発達クリニック医師)	ハートピア鹿児島
11月30日(土) 19:00～21:00	「TEACCH研かごしま 学習会④」 宇野洋太 氏(よこはま発達クリニック医師)	ハートピア鹿児島
12月1日(日) 14:00～15:00	調整中	未 定

最終回！

ノースカロライナ 研修旅行レポート

— TEACCH Autism Programへ、ASD支援をめぐる旅 ② —

TEACCHプログラム研究会 常任理事 諏訪 利明
熊本支部 今村三奈子

勝手にシリーズ化して始まったTEACCH報告も今回で最終回となりました。

皆さんに楽しみにしてもらっていたのに、これで終わりというのは本当に残念なのですが、最後は、次のTEACCHコラボレーションセミナー(2020年2月)にお招きするカラ・ヒューム先生とTEACCHの早期療育についてご報告したいと思います。

えーーーーっ！！諏訪先生…シリーズ化!!で喜んだのも束の間…突然の終結…。(涙)

でも大忙しの先生、半年寝かせての原稿なので気持ちも理解します。という事で今回、2回目に最終回となりました。皆様、申し訳ありません。←とはいってもこの企画のファンはいないかもしれませんが。(笑)

では、皆さんも2019年3月NC諏訪ツアーに気持ちを戻していただいて諏訪先生にバトンタッチです。

カラ先生にお会いしたのは、このツアーの2日目。ローレン・ターナー・ブラウン先生のTEACCH for Toddlers(TEACCHによる早期療育)のテーマの講義とセッションの見学の後、家庭訪問による超早期療育(FITTプログラム)の話をしてくださいました。この時はショートヘアが凛々しい先生でした。(2年前はソバージュヘアだったのですけど。)とてもクレバーな印象で、わかりやすい英語を話してくれるのがありがたかったです。

はい。『TEACCH for Toddlers(TEACCHによる早期療育)』というテーマを聞いただけで最新のお話が聴ける！！と背筋が伸びて気合十分になった気持ちを思い出します。そして、諏訪先生のおっしゃる通り、ベリーショートヘアで知的でステキな笑顔のカラ・ヒューム先生のお話を聴けました。「わかりやすい英語」は通訳をくださった諏訪先生にしかわからなかった事かもしれませんが、一生懸命聞いている英語のわからない私たちにもあたたかい笑顔を下さる先生です！！皆様も是非、2020コラボセミナーには一緒に参加して共に学びましょう！！

FITTプログラムとは、Family Implemented TEACCH for Toddlersの頭文字を取ったもので、セラピストが家庭訪問をすることで、家庭での家族と子どもとの良いかかわり関係を育てていこうというものです。おおよそ1回が60分程度の家庭訪問を20回、その途中で4回の親グループのセッションと組み合わせて展開していくものです。自閉症と診断されたお子さんにとって、行動問題の抑制やコミュニケーションや人への意識の育成は大きなテーマになります。その時に、家庭環境から見直していくことは、家族の手応えを育てるためにも非常に重要なことだと思われました。

『保護者との協働』という事をTEACCHで学んでから、私自身も日々の保育で(私は私立保育園の特別支援クラスの保育士です)大切にしている事ですが、この『TEACCH for Toddlers (TEACCHによる早期療育)』というプログラムは、保護者と協働しながら取り組んでいく、そのための大切な第一歩なのだと思います。ローレン・ターナー・ブラウン先生も『家族のためのプログラム』なのだとおっしゃっていましたが、自閉症の子育てに悩む

家族が子どものことを理解して関わっていくのを導いていくプログラムです。

構造化を低年齢のお子さんに準備するということはどうことなのか？例えば、課題を取り上げてみても、ここでの課題の目的は「自立」ではなく「かかわり」であるということ。つまり年齢が小さいので、自立を育てる前に、家族や他者とのかかわりを育てることが大きな目的になること。カラ先生の講義は、FITTの中で、TEACCHのストラクチャーティーチングがどう応用されているのか、子どもの年齢に合わせた狙いや考え方、そしてまさに人と関わるための課題の提供の仕方など、具体的でとても分かりやすかったです。

TEACCHは皆さんもご存知の通りこの超早期療育から一生涯継続していくプログラムです。そこには多くのコアバリューが存在しますが（夏のTEACCHカンファレンスで学べますよ！）やはりCollaboration『保護者との協働』はとても重要なコンセプトです。保護者を早期からしっかり支えていくためにも、この『TEACCH for Toddlers(TEACCHによる早期療育)』はとても重要だと考えます。人との関わり、物や玩具との関わり、それを大事にするとはどういうことなのか、より具体的に学べました。どう関わって良いか迷ったり悩んだりされている保護者を支え、さらに協働していく！それがまさにこのプログラムです。皆様も是非、2020年のコラボセミナーで最新のカラ・ヒューム先生のお話を共に聴きましょう！！

そんなこんな!?で2日目に戻って最終回!?の今回のまとめです。私個人としては、幼児期に関わる人間として、『保護者を支える』という事を改めて考えさせられ、TEACCHの素晴らしさを感じ、これからも進化していくTEACCHを追いかけ続けたい!!と思える素晴らしい2日目でした。では、諏訪先生、まとめをお願いします!!

ツアーはこの後、CLLCの見学やそのほかの療育グループの講義、さらにT-STEPやProject Search（知的障害を伴うASD高校生のための移行を意識したプログラム）の講義に続き、充実したTEACCHでの4日間でした。（さすがに4日目あたりは、さらされる英語で頭がパンクして、諏訪は尋常ではありませんでしたが。笑）最終日の5日目はGHAの一日ツアーを敢行して、こちらでも自閉症支援の実践をさまざまに学ぶことができました。

またいつか、お伝えできることを楽しみに。ひとまず終わりにします。ジ・エンド。



写真は左から、諏訪、ローレンさん、カラさん、今村さん

TEACCH コラボレーションセミナー

2020

切れ目のない支援をめざして ～早期療育から学校教育、そして成人期への移行～

今回のコラボレーションセミナーでは、幼児期、学齢期、青年期、成人期などのライフステージにわたって、切れ目のない一貫性のある支援を実現するために私たちは何ができるのかということを考えてと思います。ノースカロライナからは、幼児期から就労支援まで幅広い年代の支援にかかわっておられるカラ・ヒューム先生をお迎えして、TEACCH の家族支援も含む幼児期療育プログラム、高校から就労への移行支援プログラムなどについてお話していただく予定です。そして、TEACCH 研のメンバーから日本の実践を紹介してもらい、意見交換しこれからの実践へのヒントと元気を得たいと思います。

このセミナーは会員外の方の参加も可能です。会員の方はもちろん、非会員の方にもお声かけいただき、貴重な機会を共有できればと思います。

講師： **カラ・ヒューム 氏** (Dr. Kara Hume)

ノースカロライナ大学チャペルヒル校教育学部准教授
フランク・ポーター・グラハム子ども発達研究所上級研究員

カラ・ヒューム先生については、21・22ページの「ノースカロライナ研修旅行レポート」に詳しく載っていますのでぜひご一読を！

幼児期の自閉スペクトラム症の子どもに対して家庭訪問などの家族への支援を積極的に行う FITT プログラム (Family implemented TEACCH) の実践や研究、高校から就労など成人の社会生活への移行を支援するプログラムの実践、TEACCH の初任者研修 (トレーニングセミナー) の効果検証研究など幅広く自閉スペクトラム症の支援にかかわっておられます。

日程： 2020年2月22日(土) / 23日(日)

会場： 未定 (京都市内烏丸四条周辺で現在調整中)

プログラム

■1日目 講演 カラ・ヒューム 氏

『切れ目のない支援をめざして ～早期療育から学校教育、そして成人期への移行～』

■2日目 実践報告とディスカッション

TEACCH 研の会員から、切れ目のない支援を作るための日本の実践を報告し、カラ・ヒューム先生を交えて情報や意見の交換を行います。

詳細は、2019 年秋に配布するチラシまたはホームページをご覧ください。申し込み方法もその際にお知らせいたします。お見逃しなく！